

第6章 財政収支見通し (平成24年~平成35年)

1 水道事業会計

単位：百万円（税抜き）

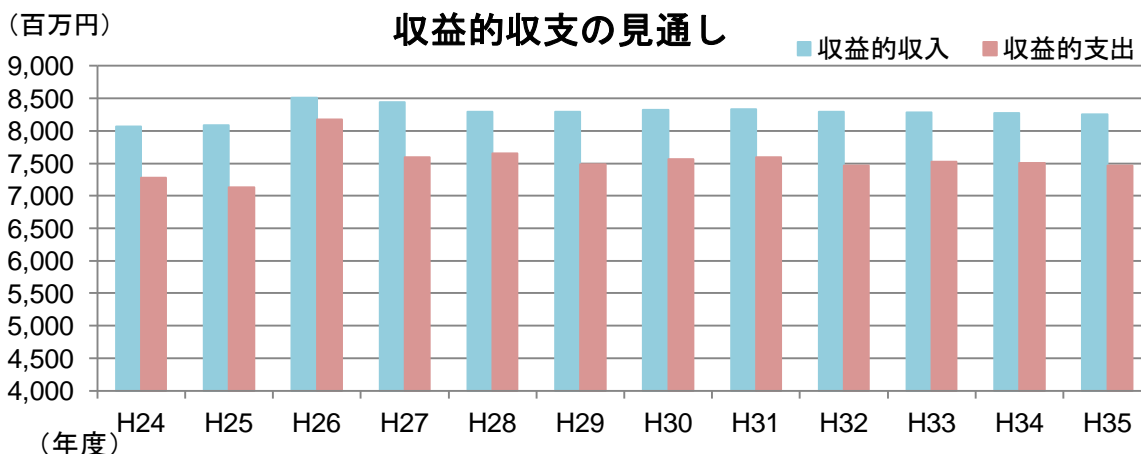
年度	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H27 見込	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
①収益的収入	8,072	8,083	8,514	8,446	8,290	8,297	8,327	8,335	8,298	8,286	8,273	8,258
うち給水収益	7,834	7,798	7,691	7,586	7,481	7,476	7,470	7,479	7,440	7,426	7,412	7,394
②収益的支出	7,276	7,130	8,176	7,593	7,654	7,487	7,564	7,599	7,468	7,522	7,510	7,463
うち減価償却費等	1,894	1,944	2,106	2,181	2,290	2,154	2,221	2,248	2,272	2,296	2,320	2,342
うち支払利息	330	255	242	235	235	257	288	296	301	302	305	308
③差（①－②）	796	953	338	853	636	810	763	736	830	764	763	795
④資本的収入	689	2,923	1,476	1,532	3,165	3,517	3,866	2,753	1,546	1,670	1,619	1,656
⑤資本的支出	4,117	3,671	5,023	4,172	6,030	6,895	5,490	5,144	3,837	4,162	4,055	4,223
うち投資的経費	2,129	2,920	3,238	3,346	4,677	4,392	4,581	4,242	2,943	3,237	3,070	3,161
⑥差（④－⑤）	△3,428	△748	△3,547	△2,640	△2,865	△3,378	△1,624	△2,391	△2,291	△2,492	△2,436	△2,567
⑦補てん財源	8,035	6,986	6,339	5,767	5,254	4,947	3,924	4,673	4,891	5,005	5,004	5,143
⑧資金残高	3,811	5,285	2,454	2,274	1,753	759	1,537	1,546	1,770	1,749	1,805	1,781
⑨企業債残高	10,630	10,277	10,440	10,627	11,971	13,624	14,542	15,304	15,802	16,433	16,954	17,436

※H27の資本的収支の額には繰越額を含んでいない。

平成29年11月に香川県広域水道企業団（仮称）の設立、30年4月から事業を開始、その後、10年間は、旧事業体毎に区分経理が予定されています。収益的収入の大半を占める給水収益（水道料金収入）は、節水機器の普及や給水人口の減少等により将来的に減収が見込まれます。一方、支出においては、水道使用量が減少することや、自己処理水源の活用により、県営水道からの受水費が減少しますが、施設の整備事業の実施に伴い、減価償却費が増加するため、ほぼ横ばいの水準で推移します。

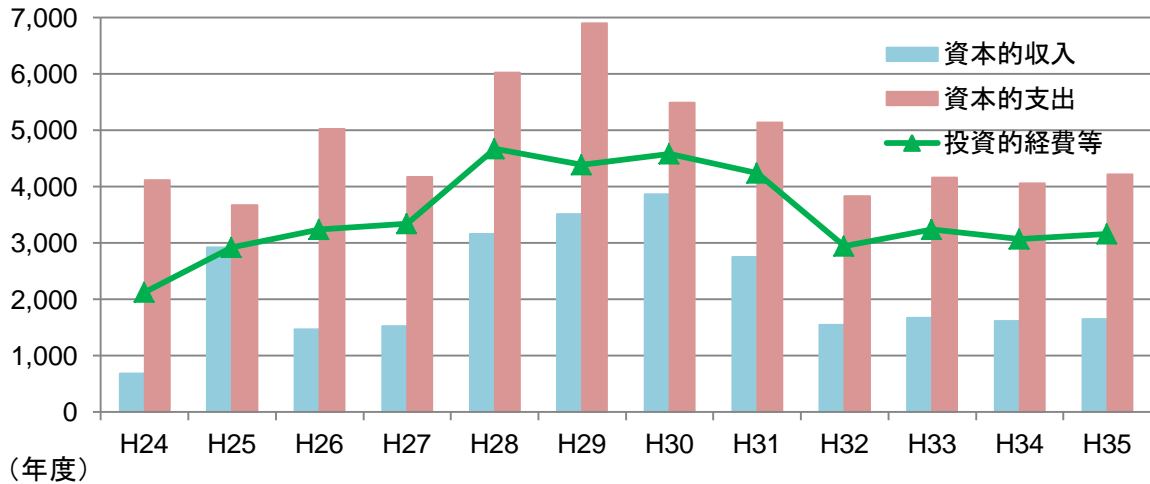
また、資本的収支における支出については、28年度までに、自己処理水源の確保等に伴う浄水場施設等の整備事業はひと段落するものの、今後、大量の老朽配水管更新事業を積極的かつ計画的に実施するため、28年度以降、高水準で推移します。

これらの事業実施に伴い、企業債の借入れが増加しますが、最終年度の35年度末では、資金残高は、約17億円となる見通しです。



(百万円)

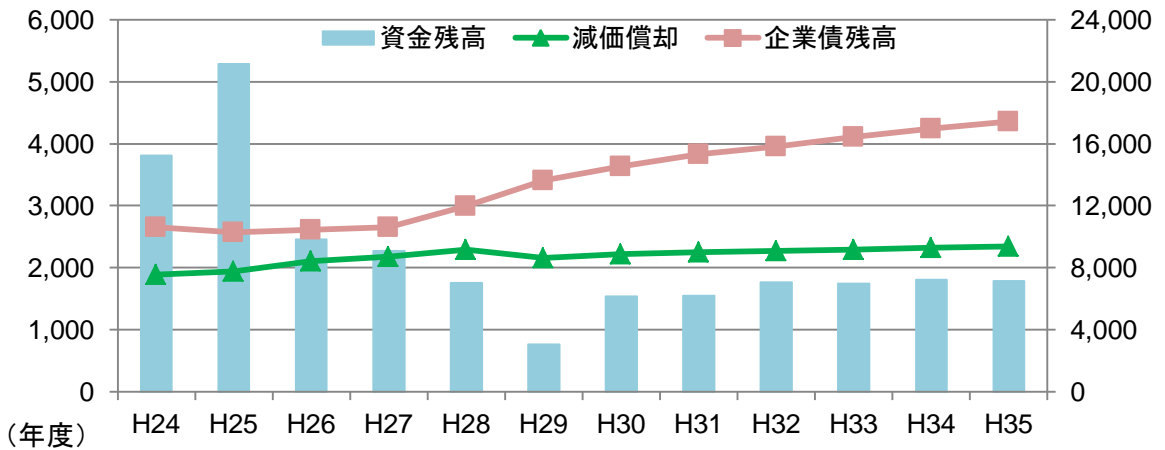
資本的収支の見通し



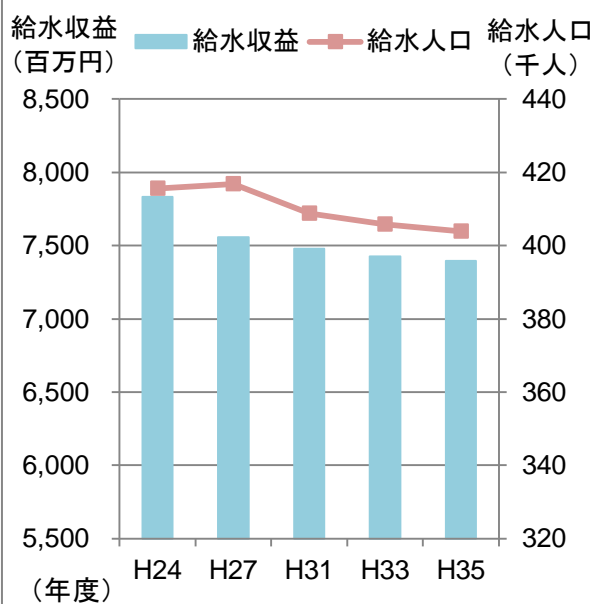
資金残高・減価償却
(百万円)

資金残高、企業債残高等の見通し

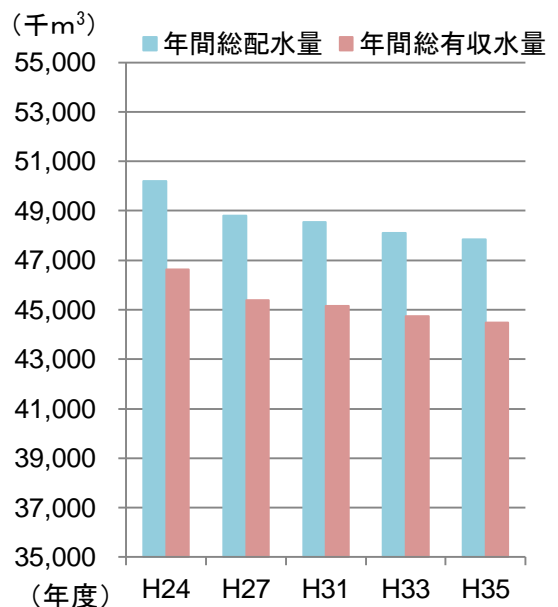
企業債残高
(百万円)



給水収益 & 給水人口



配水量 & 有収水量



2 下水道事業会計

単位：百万円（税抜き）

年度	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H27 見込	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
①収益的收入	8,019	7,869	10,520	10,495	11,387	11,355	11,225	11,216	11,193	11,009	10,848	10,753
うち下水道使用料	3,997	4,030	3,981	3,996	3,952	3,943	3,933	3,934	3,900	3,896	3,891	3,885
②収益的支出	8,028	7,876	10,422	10,397	11,841	11,355	11,225	11,216	11,193	11,009	10,848	10,753
うち減価償却費等	3,531	3,315	5,817	5,809	6,943	6,969	6,869	6,944	6,956	6,895	6,802	6,770
うち支払利息	2,067	1,940	1,864	1,773	1,732	1,676	1,597	1,520	1,439	1,351	1,260	1,171
③差（①－②）	△9	△7	98	98	△454	0	0	0	0	0	0	0
④資本的收入	6,574	4,959	6,054	6,167	12,029	7,104	7,654	7,268	6,235	5,689	6,140	5,480
⑤資本的支出	9,816	8,553	8,173	8,920	15,423	10,426	11,988	10,746	9,843	9,367	9,981	9,434
うち投資的経費	3,961	3,691	3,012	3,575	3,274	4,143	4,636	4,264	3,395	2,789	3,321	2,853
⑥差（④－⑤）	△3,242	△3,594	△2,119	△2,753	△3,394	△3,322	△4,334	△3,478	△3,608	△3,678	△3,841	△3,954
⑦補てん財源	4,108	4,188	3,846	5,060	5,314	5,957	6,108	5,279	5,341	5,209	5,005	4,658
⑧資金残高	875	601	1,629	2,209	2,374	2,635	1,774	1,801	1,733	1,531	1,164	704
⑨企業債残高	92,756	91,626	90,172	89,242	93,844	92,384	91,071	89,366	87,159	84,423	81,710	78,630

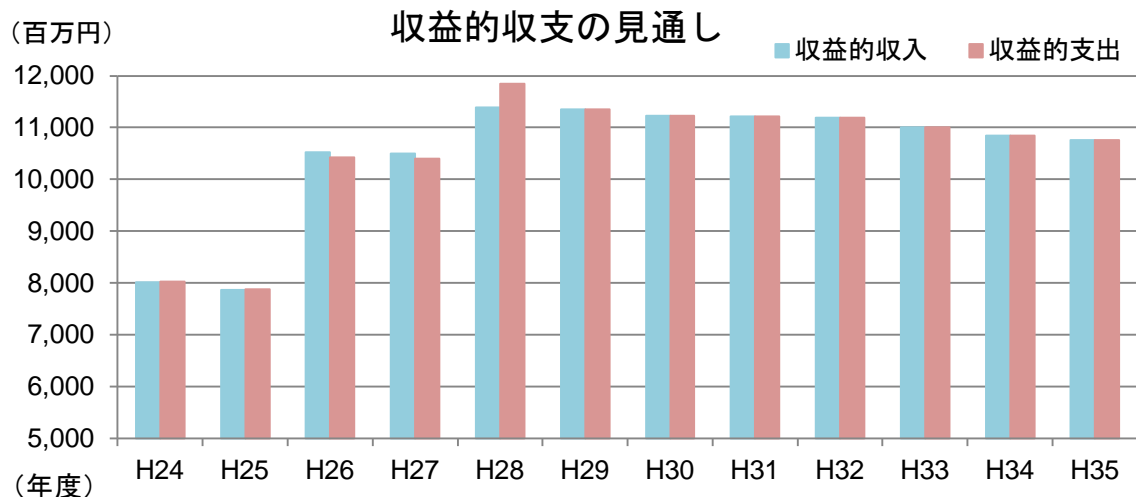
※H27の資本的収支の額には繰越額を含んでいない。

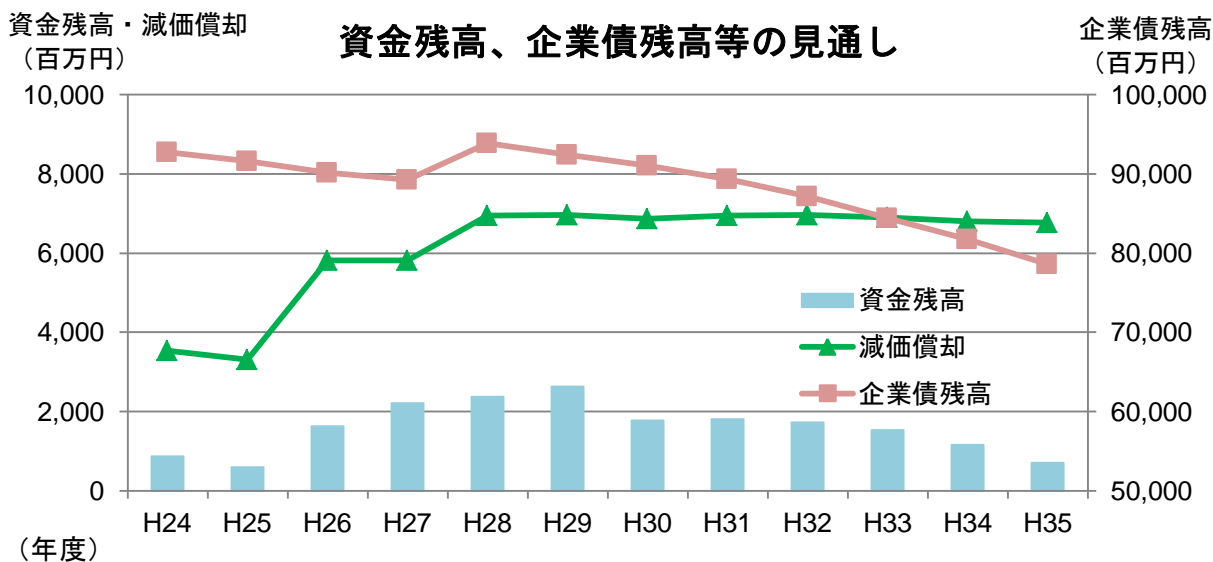
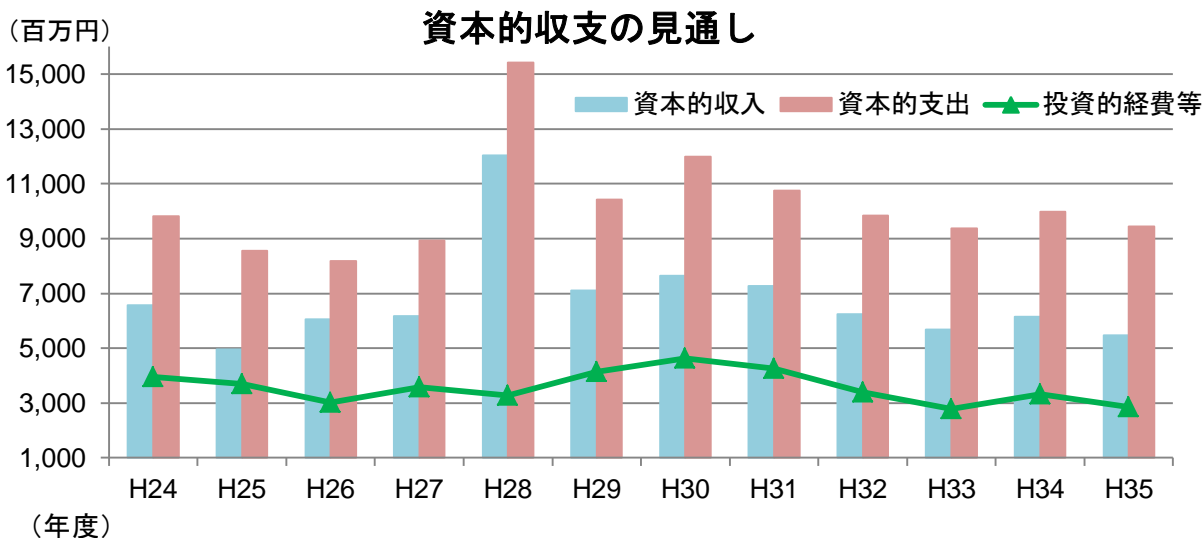
収益的収支における収入については、接続率向上への努力やバイオマス発電などの増収要因の一方、大口事業者や処理区域内人口の減少などの減収要因があり、全体としては、減収が見込まれます。

一方、支出においては、平成28年度の香東川流域下水道の本市移管により、減価償却費、支払利息等が増加しますが、一般会計からの繰入れ等により、収支の均衡を図ることとしています。

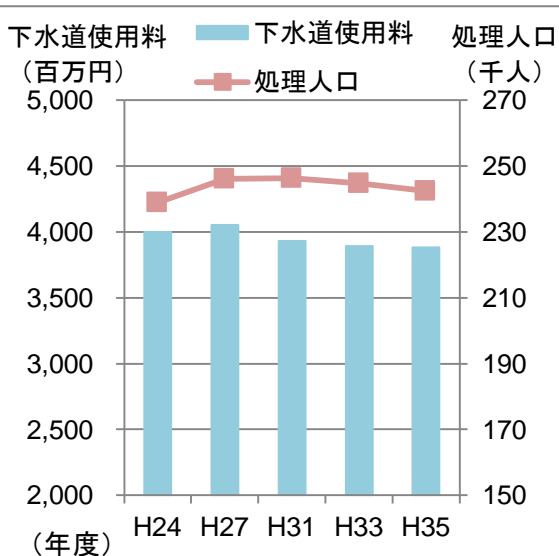
資本的収支における支出については、汚水・雨水の施設整備費が多額に推移しておりますが、28年度以降も施設・管路の長寿命化計画に基づく改築・更新事業を継続的かつ効果的に実施する必要があります。

また、流域下水道の移管等により発行する企業債の償還が、当面は高水準で推移することから、資金残高との整合を図りながら、次期基本計画の見直し時（31年度）には、34年度以降での使用料改定を検討する必要があります。





下水道使用料 & 処理人口



有収水量 & 普及率 (下水道)

